

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ぐるうぷほうむ54番地

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 竹田 友和

評価完了日 平成20年7月10日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所としての理念を「人生の継続性を大切に、自分らしく生きて行く」として掲げ、今まで生きてきた暮らし方を大切に、地域の中で暮らし続けていけるように支援を行っている。		理念についての勉強会を行い、全職員が理念という目標を意識するようにしている。現状のサービスに満足することなく、さらなる取り組みを行いたい。
			(外部評価) 人生の継続性を大切に、利用者個々が地域とつながり、暮らし続けることを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を職員が常に目に入るように、事務所や廊下に掲示している。また職員間で毎日の申し送りや月1回のミーティング、カンファレンスで利用者一人ひとりへの支援が理念に沿っているものが確認できるよう話し合っている。		スタッフ全員が理念の意味を常日頃から頭に置き、日常生活の中で必要な目標を作り、実践できるように取り組みたい。
			(外部評価) 代表者、管理者は、職員と話し合う際には、理念に基づいたお話をされている。管理者は、職員が自ら気付き、行動ができるような助言等に心がけておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の方には面会時に近況報告を行うと共に、事業所の支援の方針について話し合うようにしている。地域の方とは運営推進会議の際に事業所の理念について説明を行ったり、ホーム便り等を見ていただくなどして、理解が得られるよう働きかけている。		さらに地域の多くの方に、ホーム便りや行事などを活用し、ホームの理念やグループホームの役割などを理解していただけるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 利用者と散歩している時等、近隣の人達と挨拶を交わしたりしている。また、近隣のかたがホームの駐車場の草引きをしていただいたこともある。昨年よりホーム主催の夏祭りを行い、地域の方に参加していただける機会を設ける事ができた。		近隣の方が事業所に気軽に立ち寄られる事は少ない為、事業所内の行事などの案内状をお配りして、地域の方にきていただけるように取組みたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 事業所の前の神社行われる夏の盆踊りや秋の地方祭には積極的に参加している。また、公民館事業に利用者と一緒に参加することもある。		今年度より町内会へ参加できるようになったので、利用者とともに地域の活動に積極的に参加し、利用者や地域の方と交流できる機会をさらに増やしていきたい。
			(外部評価) 地域の方が行っているふれあいサロンに、コーヒーを飲み利用者と職員で出かけられたり、事業所主催の夏祭りには地域の方を招いておられる。		事業所では、今後さらに、地域が行う活動に積極的に参加して、地元の方々と交流を深めていきたいと考えられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で地域の方に向けて、「事業所を介護についての相談場所として欲しい」と話している。近隣の方から身内の方の介護についての相談があった。		地域に役立てる事業所として、ふれあいサロンとの交流を密にし、お互いに協力できる事について話し合いたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員全員で実施しサービスの質の向上に努めている。また、その内容について運営推進会議でも話し合い、意見を頂き、反映するようにしている。		
			(外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、利用者個々の「行いたいこと」や「楽しみ」の聞き取りに努められた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 会議では事業所が取り組んでいる事を参加者に報告す ると共に、自己評価の内容について話し合い、質問、 意見、要望などを聞き入れながら会を行っている。 (外部評価) 事業所の行事について報告されたり、地域の行事、ふ れあいサロンの予定等を教えていただいている。		事業所では、会議時には、いろいろな立場の方から のご意見をうかがいたいと考えておられる。今後、ご家 族の方の出席を得られるよう働きかけを工夫されたり、 会議を活かし、地域との関係や理解を深めていか れてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 松山市の介護保険課の職員の方と、サービスの質の向 上に向け、その時々にかかる事柄について相談する機 会を持っている。 (外部評価) 地域包括支援センター主催の地区グループホーム交流 会に参加されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価) 事業所は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度につ いて学ぶ機会をもっている。必要な人には活用できる 体制にある。		職員は学ぶ機会も持っているが、十分な活用が出来る ように学習を深めたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) チーフ研修の内容に含め、学ぶ機会を設けており、 日々の業務の中で虐待が起こらない様、注意を払って いる。		さらに職員全体で意識を高める事ができるよう勉強会 を行い、虐待に関する知識をさらに深めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用を予定している方へは、入居前の見学や自宅への訪問し話し合う機会を作っている。また、契約時にもゆっくりと説明をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は日常の利用者との会話の中から、不安や思い、意見を聞くようにし、それに対して支援が行えるようにしている。日常会話から聞き出しにくい内容も本人の想いを抽出するアセスメントを活用し、その内容についてカンファレンス時に職員間で話し合いを行っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族面会時に、健康状態などを含めて日常の様子を報告している。また、毎月、本人の写真を添えた手紙や金銭管理帳を送っている。		普段の何気ない会話から感じたことや普段の状態や経過を正確に家族の方に知っていただく為に今後も家族との交流を深め、ホーム便りなどを職員全体で作成できるよう取り組みたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の暮らしぶりについて報告をされている。毎月、日頃の様子を書いたお手紙に写真を添えて、ご家族に送付されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 心身の状況や日頃の暮らしぶりを伝え、意見や希望などを聞くようにしている。		ケアサービスに関するアンケートを作成し、家族の意見を引き出せるように努めていきたい。また、気がかりな事や、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談しやすいようにホームに来られた際の声掛けや場面作りを入居者の家族に合わせて具体的に行ったり、家族会などを儲け不安や悩みなど家族同士の交流が図れるようにさまざまな機会を提供したい
			(外部評価) ご家族の来訪時、担当者や管理者が、ご家族に意見や要望を聞いておられる。		今後、ご家族が意見や要望を出しやすいようアンケートを取ったり、家族会等、ご家族が集まる機会を増やしたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングやカンファレンス等で職員が意見を出し、主任会でその意見について協議を行い、運営者も含めた幹部会議で検討し、話し合っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 事前に予定できている行事などに関しては人員の確保を行っている。また利用者の生活の状況に合わせて、就業時間を調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動に関しては十分に配慮をし、利用者が混乱しないように取り組んでいる。また離職が少なくなるよう職員の悩みや不安について話し合う機会をもっている。		
			(外部評価) 職員が離職した場合、管理者は、利用者の不安を軽減できるよう、じっくりお話しを聞くようにされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人職員は、2週間ユニット主任と研修交換記録により学ぶ機会を設けている。外部への研修に関しては、年2回の研修参加を義務付けし、自ら学びたい研修へ参加できるようにしている。また研修へ参加していないスタッフについても研修後、報告書を作成し全員で研修内容を周知できるように努めている		
			(外部評価) 法人代表者や管理者は、職員が自ら気付き、行動ができるよう助言や指導をされている。職員は、段階に応じて外部研修を受けられるよう、すすめておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他の事業所の研修を積極的に受け入れ実習を通しての気付きや具体的な実践が生まれる様に、話し合いや支援のあり方など検討している。また相互評価事業への参加も積極的に行っている。		
			(外部評価)		
			県GH協議会の相互評価事業や、久米地区のグループホーム交流会等に参加し、他事業所の取り組み等を知ること、事業所を振り返る機会とされている。		今後、久米地区のグループホーム交流会には、職員も共に参加することを考えておられる。職員は、他事業所と交流することで、さらにケア向上のための工夫が見つかるのではないか、と話しておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の不安や悩みなどをユニット主任は日常的に聞くように心がけており、対応できない事柄については、管理者や運営者と相談できるようにしている。また月に1回のミーティングでも話し合う機会を設けている。		職員個別の悩みなどを聴く機会として、定期的に個人面談を行っている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者も頻りに現場に足を運び、利用者とは過ごす時間を作っている。職員の資格取得への協力や研修へも積極的に参加するよう呼びかけている。また年に2回、職員は健康診断を受けている。		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前の面談を行い、事前に生活状況などを把握できるように努めている。また、本人や家族からの要望などを聞き、ケア面等で活かせるように努めている。		入居前に担当職員を決めて対応するような方法など、利用者と馴染みの関係が作りやすいように配慮したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者は家族と見学時や面談時、契約時に話し合う機会を多く持つようにし、不安な点や不明な事が出来るだけ解消されるよう取り組んでいる。		入居前にあらかじめケースの担当職員を配置し、管理者とともに入居前の話し合いに同席する事で、職員と家族との馴染みの関係の構築につなげられるよう取り組みたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事業所に相談に来られた際には、管理者が対応し状況の把握に努めるとともに、サービスの種類や内容について説明するようにしている。また、他のサービスを望まれる際には必要な機関との連携が図れるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の方に事業所内を見学に来ていただいたり、管理者から家族の方や本人にお会いする事で、安心感を持って頂ける様に配慮している。		現在共用スペースを使っのデイサービスやショートステイのサービスを計画している。馴染める環境からの入居を行えるよう取り組みたい。
			(外部評価) 管理者は、利用者の「帰りたい」という気持ちを大切に考え、じっくりとお話を聞くようにされている。職員は、利用者と家族、利用者同士の関係も踏まえ、支援できるよう心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの得意な事を把握し、日常の中で発揮していただいたり、職員から相談し教えていただける場面をつくれるよう支援を行っている。		
			(外部評価) 野菜の苗の植える時期や育て方等、利用者の方から畑のことを教えていただき、ともに作業をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日頃から家族の方とのコミュニケーションを図り、本人からの要望や不満などについても家族と相談し、協力を得られるよう働きかけている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者と家族の関係について入居される前の話し合いの中で聞く機会を設け、日常の関わりの中で本人と家族の関係を築くために、職員間で話し合うようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 職員は利用者個々の大切にしているものをアセスメントにて把握し、大切にしている方との関係が途切れないように、電話など自由に使えるように支援している。		訴えや自己表現が困難な方に対しての支援についても検討していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者個別に話を聞いたり、食事やおやつの時間などには、利用者同士の会話が弾むように職員が仲介役をしている。また、トラブルが起こらないようにも配慮している。仲の良い利用者同士で過せる場所を大切に、設置している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居される時やその後も、利用されているサービスの関係者と情報交換をするなどして、利用者の生活が困らないように支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の方と過ごす時間を通して、一人ひとりの希望、関心、意向を探り、それをもとに日常の中で本人が選びやすい場面作りをしている。また、その方の想いを職員間で共有できるようにアセスメントシートや記録を活用している。言葉では意思表示が出来ない方については、表情や反応から希望や好みの把握に努めている。		
			(外部評価) 職員は、日々の言葉かけ等を工夫して、利用者個々の行きたいところや行いたいこと等を探っておられる。アセスメントシートを改良し、日々、得た情報を記録し、職員間でも共有されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日常の会話や家族からの情報を基に、利用者の今までの生活の背景を把握し、その人らしい暮らしや本人の記憶に残る過去の経験を暮らしの中で活かしていけるように努めている。		利用者全員の生活歴など把握できる様に生活史のアセスメントシートを作成し、家族からの情報や本人からの言葉に敏感に耳を傾け、職員全員で共有できるように取り組みたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 生活のリズムを把握すると共に利用者の方の心の声にも耳を傾けられるように関わり、記録として感情の変化も記入するようにしている。		ご本人の気持ちや感情、言葉を汲み取る記録の様式を活用し、ケア計画に反映できるよう取り組みたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人が困っている事やしたい事等を日常生活の会話や、家族との話の中からアセスメントシートにて把握し、毎月のカンファレンスにて、職員それぞれの意見を取り入れた介護計画を作成している。		
			(外部評価) ご本人の思いや希望を大切にし、ご本人の困っていることに重きを置き、介護計画を作成しておられる。		今後、日々の記録や介護計画の作成について、職員の勉強会を重ねられる予定となっていた。学ぶ機会を作れることを予定されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			基本的な介護計画の見直しの期間を1ヶ月としている。本人の要望を受け入れつつ状況が変化した場合はその都度検討し見直しを行なっている。		
			(外部評価)		
			1ヵ月ごとに介護計画を見直されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			職員は介護記録の様式を感情の変化、出来事、対応、言葉の項目に別け詳しく記入し、出勤毎に確認するようにしている。また毎月のカンファレンスで職員間で情報を共有しながら介護計画を作成している。		利用者の暮らしの様子と、職員のサービスが記録に反映され、より実践に活かせるよう、話し合いを継続して行いたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができるように心がけている。アセスメントシートにて個別の希望を探り、実現できるよう介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			利用者の希望で温泉に出かけられたり、テレビを見ていて、利用者からの希望で、動物園に出かける計画を立てる等、利用者の希望等に柔軟に対応できるよう努めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	事業所の前の公民館で行われるふれあいサロンへの参加を本人の意向を聞きながら参加出来るようにしている。また、運営推進会議にサロンのボランティアの方や民生委員の方に参加して頂き、地域資源を活用できる取り組みについて話し合いを行なっている。		地域の方々と職員が日常的に交流がもてるよう、ふれあいサロンへ利用者の方と職員が訪れる機会をもっと増やす取り組みを検討中である。また、サロン以外の地域資源の活用ができるように、地域の方々と話し合う機会をもっとつくれるよう取り組みたい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に合わせて送迎美容室の活用などを行っている。		職員全体で話し合い、利用者の選択性が増えるように、利用できるサービスの内容や種類を増やしていけるよう取り組みたい。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方に参加して頂いている。地域包括支援センターが開催する地域ケア会議にも参加し、協力体制は取れている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間毎に協力医療機関の医師が往診に来てくれるようになっている。以前からのかかりつけ医で継続して受診している方もおられ、家族と共に受診されたり、職員が同行するなどして、適切な医療が受けられるようにしている。		
44		(外部評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の医師は認知症に詳しく、利用者個々に合わせた相談にも対応していただき、指示や助言を頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師資格を有する職員を雇用し、利用者の健康状態や日常の健康管理などいつでも相談できる様になっている。また、協力医療機関の看護師も相談や対応をしてくださり、医療の活用や連携を支援して頂いている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院した場合には、入院先の担当医や相談員と話し合う場を持ち、家族との相談を続けながら安心した療養や早期退院ができるよう支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルに対して家族、医師などと連携を図り支援している。関係者での話し合いを何度も行ない、利用者や家族の気持ちの変化にも合わせながら柔軟に対応が行なえるよう支援をしている。 (外部評価) 入居時、管理者とご家族とで、ご本人が重度化した場合や終末期のあり方について、話し合うようにされている。日々の暮らしの中でご本人の気持ちを聴き取り、アセスメントシートにも留めておられる。ご家族の要望等も含め、職員間で共有するようになっていく。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入居時、ターミナルに対する家族の要望を聞きとり、ご本人、ご家族の意向を尊重する旨説明している。また、ご本人の意向は随時アセスメントシートにて汲み取れるようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者が他事業所などに移り住む場合には、ご家族や他事業所に情報提供を行い、暮らしやケアが継続できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>明らかに介護されているという雰囲気を作りださずにさりげない声掛けや対応ができるように配慮している。</p>		<p>職員同士の会話や、利用者との関わりなどの日常のなかで、プライバシーが完全に確保できているとは限らず、今後も研修やミーティングにてプライバシーの確保を徹底できるよう取り組みたい。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>自己決定が困難な利用者に対しても本人の力量に応じて声掛けを行っている。利用者の希望を極力取り入れて生活を支援している。</p>		<p>日常生活全てにおいて自己決定できているわけではなく、職員の言葉に任せている場面もみられる。選択性を持った声掛けを心がけ、自己決定できる場面が増えるよう取り組みたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者本人のしたい事などが実現できる様に、訴えや希望を聞きながら柔軟に対応している。(買い物、散歩等)</p>		<p>自己表出できる方の希望にはできるだけ配慮できているが、自己表出しにくい方の対応がまだ不十分である。利用者一人ひとりの聴き取りを大切に、全ての方の希望を聞き、支援できるよう取り組みたい。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>利用者個々の意欲を尊重して、個別に「行ってみたいところ」や「行いたいこと」を支援されている。それぞれが別行動を行うことを尊重されていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その日の着る物などについて本人の希望を聞くようにしている。自室に鏡を置いて自分でお洒落を楽しんでいる方や、お化粧品を楽しんでいる方もおられる。		日常生活の中の楽しみの一つになるように髪型、服装のおしゃれができるよう取組みたい。また、外出用のおしゃれをする機会をつくり、支援できるよう取組みたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものを聞いたりして、食事が楽しみの一つになるように支援している。また調理の刻む音や、食事の匂い、色合いや、味、取れたての野菜の手触り等、五感を刺激されるように配慮している。 (外部評価) 利用者とともに、畑の野菜等や旬の食材を使った献立を考え、一緒に食事の支度をされている。夏場、食欲の減退する方には、お好きなものを用意して食事がすすむようにされている。		利用者の方からどんどん食べたいもの希望が出る様に声掛けや環境作りに取り組みたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りおやつなどを取り入れ、楽しみとしてもてるようにしている。また個々の好みの菓子、飲み物など楽しめるようにしている。		意思表示の少ない方や持病などで制限がある方への配慮をどのように行うか検討し取組みたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者それぞれの排泄パターンを把握し、その方に応じた排泄支援を行っている。		オムツやパットを極力使用せずに済む方法を日頃の勉強会やカンファレンスで検討していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日入浴の声掛けを行い、利用者一人ひとりの希望に添えるよう配慮している。入浴を嫌がられる利用者には、清潔保持を保ちつつ、楽しめる入浴ができるよう取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるよう支援されている。入浴を嫌がられる方と温泉に出かけられたり、清拭や足浴等も行っておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の散歩等で活動的に過ごしていただき、生活のリズムが整うよう支援している。高齢や体力低下がみられる方も本人のペースで休息できるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者それぞれの得意な事を日常で発揮できる場面作りに取り組み、役割や楽しみがもてるよう支援を行っている。		利用者全てが気晴らしや楽しみにつながる役割がもてるよう取組みたい。また、職員で気づけていないその人の役割を見つけ支援していきたい。
			(外部評価)		
			高校野球で母校を応援するためスタジアムに出かけられたり、又、畑の野菜の手入れや家事等、それぞれの力量や興味に合わせて楽しみごとや役割を行えるよう支援されている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者の中には家族の同意を得て、少額のお金を持たれている方もおられる。また、一緒にお小遣い帳をつけている方もおられる。		利用者が自分で金銭のやり取りを行う機会をもてる取組みとして、ホームの夏祭りの場をつかったり、近隣のお店の理解が得られるよう取組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日には散歩に出かける様にしている。歩行が困難な方も車椅子などを利用し積極的に外へ出る事を支援している。		外に出る事を嫌がられる方がおられる等、外出をされる方の偏りがみられる。その方の好みや想いを大切にしつつ、外に出る楽しみを作れるよう取組みたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者とともに、毎月できるだけ全員が参加できる行事を考え、外出の機会を作っておられる。又、日常的な散歩や買い物にも、利用者の希望に沿って出かけておられる。		現在、事業所では、外出の希望の出にくい方について、外出する機会が少ないことが気になっている。今後、さらに、馴染みの場所や行ってみたいところ等を探り、出かけてみるような取組みをすすめていきたいと話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			日常生活の中から利用者の方の要望を聞き、個別の買い物や散髪等にも出かけている。また、月に一度の外出行事にて、利用者同士で出かける事の楽しみをもてるように取組んでいる。		利用者それぞれに行きたい場所について聞き出せるように取組みたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じ、電話などが利用できるよう支援を行っている。		毎月お手紙を家族の方に送っているので、その際に利用者の方にも手紙を書いていただき返信用の封筒を添えて手紙を出すなどの取組みを行いたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間などは定めずいつでも訪ねて来ていただけるようになっており、利用者と一緒にお茶などをしながら過ごせるよう配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアについては十分に注意しながらケアを行なっているが、言葉の拘束についても気を付けている。		職員が身体拘束についての知識と弊害について理解を深められるように勉強会を重ねていきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関は常に開放されており、自由に入出りできるようにしている。利用者の方が外出する際には引き止めず、職員の連携を図りながら支援している。		
			(外部評価) 日中、玄関に施錠せず、職員は、利用者の外出の傾向を把握し、対応されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は、職員が必ず一人フロアにいるようにしている。また居室で過ごされている時にも、職員がさりげなく訪室する様にしている。夜間なども定期的に居室を訪室するようにしている。		利用者の状態の変化を把握して、事故を未然に防ぐなど安全面での配慮について常に検討していきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者個々の状態を把握しながら、注意の必要な物については職員間で話し合い、注意しあうようにしている。		今後も利用者の状態変化に合わせ、注意が必要なものが新たにないか、話し合いを続けるよう取り組みたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で毎月カンファレンスのなかで利用者個々の予測される事故について話し合い、注意するようにしている。毎月のミーティングでは事故防止対策の話し合いを設けている。		リスクマネジメントへの取り組みの充実。ヒヤリハット記録を作成することを検討している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成し、職員全体に周知している。		いざという時に冷静に対応できるよう、実際に行ってみるような取り組みを検討したい。定期的の実技を含めた勉強会を実施するなど、繰り返し練習できるよう取り組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作成し、職員全員災害時に対応できるように努めている。また年に2回消防署の協力を得て防火訓練を実施している。 (外部評価) 年2回、避難訓練を行っておられる。		実際の場面では冷静な判断が難しくなることが予想されるので事業所内でも定期的に避難訓練を実施できるよう取り組みたい。 今後、地域防災協定について、地域の方と話し合うことを予定されていた。話し合いや訓練等を重ね、いざという時のために備えておかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の方に面会時または電話連絡にて必要時や予測される状況時に、リスクの説明を行い、理解が得られるようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタル測定より、利用者の体調の変化や異常の早期発見に努めるようにし、朝、夕の申し送りなどを通して職員全体で把握できる様に取り組んでいる。		勉強会を行い、利用者の急変時などにも職員が慌てずに対応が出来るように取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬表を作成し、職員全体が利用者の薬の効能や副作用など把握できるように努めている。		薬に対する認識をもっと持つために、定期的に薬の効能や副作用についてなど勉強会を行えるように取組みたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘傾向の方などには繊維のある物を多く摂取していただいたり乳製品など取り入れている。それでも改善されない場合には主治医などに相談している。		生活動作等から運動不足を解消して、便秘予防に取り組みたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアについては、その都度声掛けをし能力に応じて介助を行っている。		口腔ケアの必要性を職員全員で理解できる様に勉強会などを重ねていきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を記入すると共に毎月体重測定を行っている。また毎食、一汁三品を目安に料理を作っている。必要に応じて食事の形態を変えたり、水分チェックをしている。		
			(外部評価) 宅配の牛乳を取っている方もある。居室に水筒を置いている方もうかがえた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染予防のマニュアルを貼り、全職員で対策に努めている。予防として調理器具の消毒を毎晩行っており、手すりなどの共用部分についても定期的に消毒を行っている。また利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を行っている。		感染症の予防には十分注意を払っているが、衛生管理が徹底して出来るように定期的に勉強会の実施に取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、布巾、包丁など毎晩漂白剤につけたり冷蔵庫の整理などを定期的に行っている。また職員は手洗いをしっかり行うようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>違和感や威圧感を感じさせず、利用者や家族、近隣の住民も訪ねやすいように、季節の花のプランターを飾るなどしている。玄関の表札は、利用者と一緒で作成している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下には四国八十八ヶ所の絵を飾っている。食堂、玄関などには花などを置いて季節感を出している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>懐かしい道具や飾り等を少しずつ増やされている。共用空間の各所に、季節の花や造花が飾られていた。</p>		<p>利用者の方にとって馴染みのある家庭的な環境作りに努めている。ベランダや廊下のデッドスペースを活用できるよう工夫したい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下の端に池が眺められる椅子とテーブルを設けたり、玄関に椅子を置くなどして一人になれるスペースを設けている。</p>		<p>テーブル、椅子などを設置しているが、居場所作りとしてはまだ不十分である。居心地の良い場所としての雰囲気作りを取り組んでいきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者それぞれの好みや馴染みのベットやタンス、家族の方の写真などを持ち込まれ、落ち着いて過ごせる部屋となるよう家族と相談しながら取り組んでいる。		利用者の中には、色々な状況認識で過ごされている方もおられる為、その方の想いを尊重した部屋作りが出来るよう取り組みたい。
			(外部評価)		
			利用者の使い慣れたベッドやたんす、椅子等が持ち込まれている。職員は、家具等が好みの配置になるよう、ご本人と相談しながら決めておられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			体温調節がなかなか出来ない方のために職員がこまめに配慮している。また衣類などを着込むような方には、その都度声掛けを行い調節をしている。		建物の2階部分は、室温が上昇する時間帯もあり、夏場は室温管理に細心の注意を払いたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりなどを設けたりしている。車椅子や歩行器を使用している方が多い為、廊下は広く使えるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			何がその人にとって分かりにくいかなどを探り、混乱や失敗などが見受けられた場合は、その都度ミーティングを行い、早期解決に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭にはベンチなどを設け、天気の良い日にはそこでおやつを食べたり、裏庭には畑のスペースを設け利用者の方と一緒に色々な野菜を栽培している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全ての利用者の意向の把握に至っていない。また利用者の方の心の奥に潜んでいる思い等を日々の中から探り、それに極力近づけられるように取り組みたい。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日少しづつでも一緒に過ごすようにしている。利用者それぞれの必要な関わりを把握し、個々の要望に沿った過ごし方が出来るように取り組みたい。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者それぞれに自分のペースで生活していただいているが、状況などで声掛けをして、ペースを崩してしまう場合もあるので、ミーティングなどで徹底できるように取り組みたい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の関わりの中で笑顔が見られたり、畑の収穫や洗濯たたみなどの活動を楽しんでいたたりしているが、1日を通してもっと生き生きとした姿を増やせるように検討を続けている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	極力利用者の方の要望を尊重し外出の援助などしているが、利用者の中には外出や散歩を好まれない方も居られ、対応について検討を続けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者が定期的な往診や、馴染みの主治医への受診を続ける事で安心して日々の生活が送れる様に努めている。また利用者の状態の変化にいち早く気づき、柔軟な対応ができるように努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者個々の要望などを聴き取り、出来るだけ安心して落ち着いた生活を送ってもらえるよう支援しているが、全ての利用者への支援に至っていない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に本人の現状の説明を行い家族からの不満や要望などに耳を傾け職員と家族との信頼関係の構築に積極的に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ほとんどない	地域の方や馴染みの方など時々訪ねて来られるが、頻度としては少ない。これからさらに働きかけていく必要がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議で少しずつ理解は得られてきていると思うが、これから更に理解を深め、関わりが増えるよう働きかけていきたい。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は一生懸命働いており、利用者が喜ぶ事を行う事に充足感を感じている。これからさらに専門性や困っている事についての勉強会を重ねることで、生き活きと働ける環境作りに取り組みたい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね満足はして頂いていると思うが、帰りたいと言われる利用者も居られるので、利用者の方の内面に潜む本当の心の声にも耳を傾けられるように取り組みたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族は、「良くしてくれている」と言ってくれるが、これからも家族と密に連絡をとりながら満足していただけるようなサービスを提供できるよう取り組みたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の想いや希望を大切に、それが日常の中で行えるよう支援を行っている。
 利用者一人ひとりが大切にしているもの、生活について尊重し、集団としてではなく個々の生活を大切に支援している。
 関わりでは、職員は利用者に対し認知症という認識はもたず、一人の人としての関わりを大切にしている。
 活動としての役割だけではなく、集団の中の役割を利用者個々に担っていただける生きがい作りに取り組んでいる。
 全ての利用者が安心して、穏やかに生活していけるよう{優しい介護}をチーム理念として職員全体で取り組んでいる。